



講演会のご案内

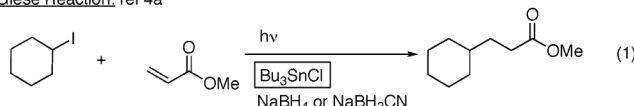
ヒドリド活性種を用いる新反応開発

柳 日馨 先生（大阪府大院理学系）

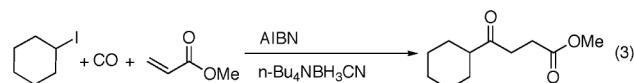
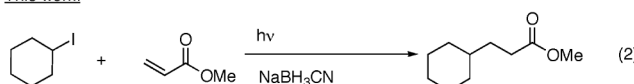
日時：平成21年6月10日（水） 午後 4時00分～5時30分
場所：兵庫県立大学理学部研究棟 739談話室

今世紀に入り有機合成法は環境調和型であることが強く求められている。有機スズヒドリド種はラジカルメディエーターとして極めて有用であるが、その毒性のため代替法の開発が強く求められてきた。そこで各種のオート型ボロヒドリド試薬を用いラジカル反応を行ったところ、良好に進行することが明らかとなった。また、ルテニウムヒドリド種を用いたアトムエコノミーに優れた結合生成反応の開発にも成功した。これら最近の研究成果を紹介したい。

Giese Reaction: ref 4a



This work:



新規な発見が有用な合成手法の開発につながった化学の面白さを示す研究例と思います。2, 3年生も含め学生の聴講を歓迎します。なお、この講演会は関西地区公立大学の化学系研究科などで構成される「化学プラットフォーム@関西」と兵庫県立大院物質科学科の化学系部門セミナーの共催で行われます。



世話人 杉村高志（兵庫県大）
電話：0791-58-0168
メール:sugimura@sci.u-hyogo.ac.jp